

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	27	学校名	磯城野高等学校
----	----	-----	---------

1. **取組名** 地域と共に作る大和野菜「味間いも」プロジェクト
～地域特産物の安定的な生産を担う人材の育成を目指して～

2. 活動内容

田原本町で古くから栽培されているサトイモ「味間いも」は大和野菜に認定され、地域特産物であるが、種芋の確保が難しく、生産農家が少ないことが課題であった。そこで、本校では田原本町役場と連携し、安定的な生産を目指し、植物バイオテクノロジーを利用した新しい苗づくりや種芋の提供に挑戦した。また、田原本町商工会や自治会と連携し、各種イベントでの販売や情報発信を行った。

3. 成果と課題

成果 外部講師として地域の生産農家から味間いもの栽培方法など具体的な助言を受けることができた。本校施設を利用し、生徒たちがバイオテクノロジーで作成した味間いもの苗や種芋は生育もよく、田原本町役場の方や生産農家から「実際の活用に向けて期待できる」との意見を頂くことができた。来年度、生産農家や奈良県中部農林振興事務所農林普及課へ苗や種芋を提供し、試験栽培を実施する予定である。また、地域のイベントや本校の直売所で生徒たちが味間いものを販売し、多くの方へおいしさや特徴を伝えることができた。地域の方との交流を通し、生徒ら自身が地域への愛着やもっと地域のために貢献したいという思いを大きくした。

課題 来年度は地域とより連携を深くし、適切な栽培方法により種芋の収穫量を増やし、必要とされる更なる種芋の品質向上に努めたい。また、味間いもを使用した新商品の開発に挑戦したい。



図1 社会人講師による収穫指導



図2 味間いものポスター発表



図3 田原本町やどかり市での販売

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

地域の課題について、生徒らと試行錯誤して取り組むことができた。地域の方とのコミュニケーションを通し、様々なアイデアが生徒たちから生まれ、積極的に活動することができたことが生徒たちの自信につながったと思われる。次年度はさらに地域との協働を深め、地域貢献を目指すとともに生徒たちの力をより発揮する機会を多く作りたい。